

燃やすごみの4割は生ごみ

平成23年度に市内の家庭から出た燃やすごみの量は、約3万3,200トンです。そのうち生ごみは約4割を占めています。

つまり、生ごみを減らすことで、燃やすごみを大幅に減らすことができます。燃やすごみを減らすことができれば、ごみ収集労力の軽減、ごみ処理経費の節減、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を削減することができます。

また、家庭でのごみ出しの負担が軽減され、水切りをすることでごみ袋の使える容量が増え、年間のごみ袋消費量が少なくなり家計的にも得になります。

ごみを出す前に「食材を使い切る」「食べ残しをしない」といった取り組みを試みましょう。

生ごみの水切り

生ごみの約8割は水分が占めています。生ごみの水切りを徹底するだけで、燃やすごみの減量につながるだけでなく、生ごみの腐敗防止にもなります。

上手な水切り方法

- ・乾いている生ごみを濡らさない。(野菜の皮やへたなど水分の少ない部分は水洗いする前に切り取って直接ごみ袋に入れる。)
- ・水分を含んだ生ごみは、手やビンの底で押して水分を搾り出す。
- ・レジ袋などに生ごみを入れる場合は、割りばしなどで底の部分に穴を開け、中にたまった水を出す。